

変えよう！ 日本と世界

ポストコロナ、ポストトランプ・安倍
～われわれは、どのような社会をめざすのか～

プログラム

司会 千葉宣義さん/松田舞さん

- ▽13:35 オープニング(歌) 飛鳥井佳子さん
- ▼14:00 開会あいさつ 司会
- ▼14:05 主催者あいさつ 仲尾 宏さん (集会実行委・代表世話人)
- 連帯アピール とめよう戦争への道 めざそうアジアの平和 2021年関西のつどい
中北龍太郎さん (戦争あかん! 基地いらん! 関西のつどい共同代表)
- ▼14:20 講演① 沖縄の声を国会で、未来を決めるのは私たち
伊波洋一さん (沖縄県選出の参議院議員) *プロフィール裏面
- ▼14:50 公演(歌) 差別・排外主義を許すなー戦争法いらん・原発あかん・基地いらん
趙 博さん (浪速の唄う巨人) *プロフィール裏面
—★カンパ アピール—
- ▼15:20 特別アピール ①権力の労働組合つぶしと対峙し、働く仲間の先頭に立つ
全日建連帯労組・関西地区生コン支部から
②大阪都構想反対! 衆議院選挙に立ち、民主主義をとり戻す
服部良一さん (元社民党衆議院議員)
大椿ゆうこさん (社民党全国連合幹事、労働・女性・多様性政策委員長)
- ▼15:40 講演② ポストコロナ、われわれは、どのような社会をめざすのか
白井 聡さん (思想史家、京都精華大学教員) *プロフィール裏面
- ▼16:20 集会のまとめ 新開純也さん (集会実行委・世話人)
行動提起 寺田道男さん (集会実行委・事務局長)
- ▼16:30 インターナショナル (歌詞・裏面)
- ▽16:50 デモ 出発 →四條通→河原町四條→京都市役所前 解散

★会場内のゴミ分別に御協力を! 紙類と生ゴミ一缶一ペットボトルの3分別★

「第14回 反戦・反貧困・反差別共同行動 in 京都」の開催にあたって

全世界を覆うコロナ禍。また全世界を覆う格差・貧困社会。いま瀕死の資本主義経済・社会が根本的に問われている。わずかな富裕層とは反対に多くの人びとは「命」をつなぐための日々の生活に困窮を余儀なくされている。しかし、このコロナ禍のなかでそれら多くの人たちは今、「人権と平等」を掲げ、とりわけ人種差別の壁を取りのぞくために、世界中のそれぞれの国で声をあげ始めている。このようにコロナ禍で問われているのは、それはポストコロナの世界・日本の政治・経済・環境・社会の変革である。

反戦・反貧困・反差別の闘いを訴えてきた私たちにとって、いまこそ「変えよう！日本と世界」の旗の下に集まり、アベ政治を継承する菅政権と対峙し、人が人らしく生きられる「新しい時代」とともに築きたい。

(第14回の「集会基調」は別紙になっています。一読を！)

今集会の講演・公演者 プロフィール

白井 聡さん

思想史家、政治学者、京都精華大学教員、著書に『未完のレーニン ―「力」の思想を読む』(2007年、講談社)、『永続敗戦論 ―戦後日本の核心』(2013年、太田出版)、『国体論 ―菊と星条旗』(2018年、集英社)、新書は『武器としての「資本論」』(2020年、東洋経済新報社)など著書多数

伊波洋一さん

沖縄県選出の参議院議員、会派「沖縄の風」幹事長、元・宜野湾市長。著書に『普天間基地はあなたの隣にある。だから一緒になくしたい。』(2010年、かもがわ出版)、共著に『終わらない「占領」：対米自立と日米安保見直しを提言する!』(2013年、法律文化社)など多数

趙 博さん

反戦・平和を唄う、浪花の歌劇派芸人、役者、作家。CDに『怒！阿逢陀羅経』、『ワテら陽気な非国民』など、DVDに『コンサート・百年を歌う』など、著作『僕は在日関西人』など、一人芝居『砂の器』、『マルコムX』など、また、『新梁山泊』の作家兼役者で『百年、風の仲間たち』などの脚本担当など多彩な活動家。

「死ぬ日まで空を仰ぎ 一点の恥辱なきことを」



京都・円山音楽堂に結集した記憶を今一度！

★記録集発売！

「反戦・反貧困・反差別共同行動in京都」の13ヶ年の円山集会の足跡、闘いの記録と、その時代・状況に対峙してきた取り組みの一部を収録した ―「死ぬ日まで空を仰ぎ 一点の恥辱なきことを」を作成、販売中。

頒価1部 1000円 (送料別・3部まで370円)
問い合わせは実行委員会の寺田まで
電話 090-5166-1251

新自由主義と翼賛政治—菅政権打倒に向けて ポストコロナ、我々はどのような社会をめざすのか

1、コロナ禍は「現代」の状況をあぶり出した。

①第一に、コロナはあくなき利益を追求する資本の乱開発による生態系の破壊によって人類が自らおびき寄せたものであることを明るみにした。気候変動と共に人類が直面する最大の課題である。生態系を破壊している巨大資本に対して世界の人びと、とりわけ途上国の人びとと連帯して闘わねばならない。

②第二に、グローバル化した世界と新自由主義の矛盾と悪を暴き出した。サプライチェーンが寸断され生産と物流が停滞して経済が収縮しその災禍は失業者の増大をもたらし、アメリカやブラジルが典型のように容赦なく貧困地帯やエッセンシャルワークの人びとに襲い掛かった。ただでさえ拡大していた貧富の格差は一層拡大しつつある。さまざまな社会運動、市民運動と連帯して闘う。

③第三に「国家と自治」の在り方を浮き彫りにした。本来すべての人びとに降りかかっている災禍に対して一致して立ち向かうべき時に、トランプに代表されるように自国ファーストのナショナリズムはむしろ勢いを増している。またトランプやマクロンのようにコロナとの“戦争”と称して強権がまかり通る。国際協調を強調しながら自国での強権を強化する国もある。デジタル化の名のもとに監視社会が強化される。惨事便乗（ショックドクトリン）の権力強化である。我々は、コロナ禍を利用したこれらの強権、抑圧に対して闘う。

これに対抗するのは、人びとの「連帯」と「自治」である。それは理念としての人びとによる「自己決定権」だけではない。政治的な自治—地方自治—だけでもなく、経済的には地域的連帯経済を含み、同時に全国的な、また国際主義的な連帯を含む人びとのアソシエーションとしての自治である。（ミュニシパリズム—「水道再び公営化！」岸本聡子 集英社新書）

2、7年8か月にわたる安倍政権は崩壊した。

崩壊は人びとの手によって打倒されたわけではないが、アベノミクスをはじめとした政策、またモリ・カケ・サクラ・クロカワ等の政治の私物化がコロナ禍のなかで行き詰まり自壊した。安倍政治の決算は次のようなものであった。

- ①アベノミクス—成長なし、ゼロ金利と日銀による株価操作＝人びとからの収奪と資産家をより太らせ貧富の格差の拡大、いわゆるトリクルダウンなし、実質賃金の低下（年収—2012年 396万円→2018年 382万円）、消費税UPと実質的財政ファイナンス＝後世代へのつけの先送り、危機の“時間稼ぎ”（シュトレーク「時間稼ぎの資本主義」）
- ②秘密保護法（2012年）→安保関連法（2015年）→共謀罪（2017年）の悪法
- ③解釈改憲＝安保法＝集団的自衛権行使の実態化、自衛隊強化と米軍との一体化、辺野

古強行→敵基地攻撃論

④世界を俯瞰する外交—アメリカ（トランプ）一辺倒、対ロ（北方領土）北朝鮮（拉致問題）等進展なし、対韓関係の最悪化

⑤やっける感のスローガン政治—「女性活躍」「地方創生」「一億総活躍」「生産性革命」「働き方改革」「人づくり革命」等、官邸官僚今井主導の空虚な言葉遊び

⑥官邸主導政治—閣議決定による恣意的法解釈、公文書の隠蔽と改竄、官僚に対する恐怖人事—忖度の蔓延、マスコミへの介入、恫喝と懐柔

⑦政治の私物化—モリ・カケ・サクラ・クロカワ・カワイ

3、菅政権の性格

菅政権は安倍政権の亜流であると同時に、発足後の短い言動からすれば次のようなことが浮かび上がってくる。第一に、「自助・共助・公助」発言に見られるように安倍に較べよりむき出しの（二周遅れの）新自由主義者である。竹中平蔵ごときの重用。（安倍は祖父岸信介からの国家社会主義的要素を持っていた（例えば上からの賃上げ要請）。第二に、安倍が「一億総活躍」、「働き方改革」等御託、美辞麗句を並べたのに対し、デジタル革命や既得権打破—行政改革に表れているように権力を行政に集中しようとするいわば「政治なき行政主義」である。第三に学術会議問題に端的に現れているように、安倍を踏襲しつつ法解釈を恣意的に変え、国会さえ無視した行政主導の分断・排除の政治＝翼賛体制を目指す政治である。このような政治はトランプを先頭に世界中に蔓延する分断とフェイク、反知性主義政治の一環である。

だがこのような行政主導の政治で現在の状況を打開できている所にそもそもの錯誤があるだろう。

戦後史は、①1945年（終戦）～1971年（ドル金兌換停止＝ニクソンショック）復興と成長期、②1971年～1990年（社会主義の崩壊）新自由主義前期、③1990年～2008年（リーマンショック）新自由主義全盛期、④2008年～新自由主義（資本主義）の行き詰まりの時期、に区分できる。

これを政権の権力構造という観点から見た時どうだろうか。

①の時期

戦後農地解放によって創出された自作農を食管制によって「同盟」につけた（粟田）資本家—自作農民のブロックの自民党と都市勤労階級を基盤とする社会党（—総評ブロック）が対峙するいわゆる「55年体制」である。国際的な冷戦体制のもとでの日米安保を基軸とし、植民地侵略＝加害の意識なき平和主義と闘い取ったものではない民主主義のもとで復興＝経済成長に支えられた自民政権。

②の時期

急速な都市化による都市への人口の集中により自民党はその支持基盤を資本家、旧中間層（大幅に減少する農民層と都市商店主等）だけでなく新中間層（企業の管理職層等）にウイングを拡大した。これを支えたのは高度成長でありその中での年金制度と国民皆保険を二大軸とする日本型福祉国家の創出と、経済成長でゆとりのある財政によるバラ

マキ（国土計画、土建国家）である。都市勤労階級を基盤とする社会党一自民党の1対2の保革「二大政党」制。時として都市化にともなう公害や、福祉問題の噴出による革新自治体が成立した。

③の時期

バブルの崩壊によって低迷の時代に入った。（日本のGDPは1997年をピークにして以降約30年500兆円を前後）そして世界的にも社会主義の崩壊と共に本格的な新自由主義の時代に入った。徐々に貧富の格差が生じ分厚い中間層の分解が開始し、それを基盤としていた二大政党制が揺らぎ始めた。（細川内閣、村山内閣）

もはや経済成長と比較的潤沢な財政状況のもとでの各階級階層への（再）配分は不可能であった。この再配分を担った自民党派閥と族議員、また中選挙区体制は支配者にとって桎梏と化した。ここに政治改革と行政改革がセットで推進された根拠がある。資本家階級は、国鉄民営化等の攻勢をかけ社会党の基盤だった総評を解体し大企業上層労働者を代弁する連合を結成させ、保守二大政党を目指した。自民党は資本家・旧中間層を固有の基盤としたが、新中間層は、格差による分解傾向と、かつてのような財政的（減税、福祉）手当は低成長とそれによる財政状況では不可能であり、従って不安定に「風」＝ポピュリズムによって揺れる。小泉政権、逆に民主党政権というように。

④の時期

新自由主義は、2008年のリーマンショックによって矛盾と限界を現した。また抬頭する中国に代表される資本主義の「不均等発展の法則」によって絶対的覇権国だったアメリカの地位は揺らぎ、パクスアメリカナの時代は終焉を迎えつつある。このような基軸国のない状況は自国ファースト＝ナショナリズムの台頭の時代でもある。

他方、新自由主義下で進行していた貧富の格差はさらに進んだ。非正規雇用は40%に達し労働者階級下層は「アンダークラス」と命名（＝区別）される。（橋本健二「日本の階級社会」）

このような情勢下でいずれの国でも進行した事態はかつての中道右派一左派による「中道政治」の崩壊である。国によって濃淡はあるが右翼ポピュリズムと左派の抬頭である。安倍政権はまさにその右翼政権の一環であった。トランプの共和党と同様に安倍の下で自民党は異質のものに転化した。資本家、旧中間層、新中間層上層を支持基盤とする点では従来と同じであっても、格差の拡大した段階での「成功者」としての上層階級として「岩盤支持層」を形成する。しかも、ゼロ成長のもとで財政による再配分の余裕がない（福祉の分野の「緊縮」）時、他の階級階層は、自己責任と自助が求められる。このような状況と先に述べたナショナリズムが結合すれば、不満の矛先を他に転化す（韓・中などへのヘイト）る偏狭な排外主義と、行政権力（官邸政治）の強化による「強い政治」（同意の政治、寛容は弱者だとされる）がまかり通る。官僚からマスコミそしていまや学会にいたるまで異を唱えるものへの排除が行われる。「翼賛体制」である。

菅政権は、安倍政権を継承しつつその美辞麗句を削ぎ取り、デジタル化をキーワードとして行政改革（福祉の切り捨て、民営化とアウトソーシング）をはじめとする新自由主義政策を展開するとともに監視社会を構築しようとしている。また歴史が教えるよう

にこのような翼賛体制は、ナショナリズムの抬頭と共に戦争のできる国づくりと一体のものである。

4、菅政権打倒に向けて

①2011年以降の世界的運動の高揚

2008年リーマンショック以降新自由主義の行き詰まりとともにトランプや安倍等々の右翼強権政権が登場したが、その対極に対抗する運動と政治勢力も登場した。2011年が画期の年だった。アラブの春にはじまりウオール街やマドリッド等でのオキュパイ（占拠）の運動また日本での3・11以降の運動もその一環を形成した。リーマンショックという1929年大恐慌以来の金融危機を生み出したにもかかわらず、誰一人として責任を取らず、むしろそれを利用して肥え太る輩、人びとには「緊縮」を押し付ける輩に対する怒りの運動である。この新自由主義と強権政治（右翼ポピュリズム）に対する運動は持続し、例えばアメリカでは民主社会主義を唱えるサンダースをあるいはスペインではポデモスをイギリスではコービンの労働党あるいは直近のフランス地方選挙での赤・緑連携による前進を生み出した。我々はこれらの欧米の運動や韓国キャンドル革命などのアジアの運動に学び連携し新自由主義、右翼ポピュリズム政権と闘う。

②左派・リベラル共同戦線とミュニシパリズム（自治）

我々はこの2011年以降の運動の次の様な点に着目する。第一にこの運動は、かつての中産階級をベースとした福祉国家の再現を目指すものではない。より根底的な（ラディカル）体制そのものの変革を潜在的に目指すものである。現在の新自由主義的資本主義（の行き詰まり）自体が中途半端な解決を拒否しているのだ。第二にそれは、あれこれのイデオロギーから出発するのではない、新自由主義資本主義と圧政への抵抗としての現実の運動、叫びなのだ。それ故に第三に政党を含む諸組織を包含しながらも多様性を承認した共同行動の運動体である。第四にスペインポデモスとバルセロナ・コモンズ、フランスの左翼戦線（メランション）と各地のミュニシパリズム（自治）、またキャンドル革命とソウルの社会的連帯経済等の関係が示すように全国的な左派・リベラルの共同戦線・運動と、各地での水道再公営化のような新自由主義に反対して人びとの「自治」を実現しようとする運動（＝ミュニシパリズム「水道再び公営化！」岸本聡子、集英社新書）の全国一地域の連携に注目する。

我々はもとより「野党共闘」を安倍一菅等の右翼政権に対する防衛線として拒否するものではないし推進の一翼を担ってきた。だが上記したような2011年からの運動の中で、新自由主義を根底から掘り崩すために社会運動、市民運動を連携する全国的政治勢力形成と各地のミュニシパリズム運動のために全力をつくさなければならない。

コロナ禍に便乗してデジタル化と称して周回遅れの新自由主義を推し進め「翼賛体制」の強権化を目指す菅政権を一刻も早く打倒しよう。

2020/10/18

第14回 反戦・反貧困・反差別共同行動 in 京都

賛同人と賛同団体/賛同店

賛同人 (敬称略)

あ/ 青木 健、赤嶺美鈴、芦名定道、飛鳥井佳子、天野 博、荒井康裕、五十嵐 守、池内光宏、池田正和、石田隆子、伊藤公雄、伊藤美子、井上和彦、井上一枝、井上邦子、井上 淳、今泉美代子、井村哲郎、岩田吾郎、岩野政樹、岩本乾治、岩本昌美、上野昭史、上原敦男、内富 一、江口慶明、大井哲郎、仰木 明、小川成子、大濱冬樹、大村和子、岡田雅宏、大川傳四郎、大川なを、小倉眞佐子、奥村 功、大菅 新、太田 修、太田俊夫、大野ひろ子、小川久美子、翁長晴永、翁長洋子 か/ 海藤壽夫、貝沼三枝子、上甲敦子、垣沼陽輔、加来洋八郎、片山昌伸、金子恵美子、蒲地和代、川島繁夫、川嶋澄夫、川口健次、河村栄三、岸園正俊、北上あきひと、北岸達夫、木戸進次、木原壯林、工藤美彌子、黒石昌朗、鴻池 博、小島富紀子、児玉利春、小西弘泰、小林将夫、駒井高之、桑山義隆、小山敏夫、近藤弘子、近藤好澄 さ/ 斎藤純子、酒井 満、阪上 孝、笹壁澄子、坂本清市、佐々木佳継、佐藤 大、佐藤友子、実藤光子、佐野二三雄、三野英二、澤 隆文、柴田朋三、柴田和子、柴野貞夫、篠田美津代、清水 基、白井美喜子、白坂有子、白永昇次、新開純也、杉 浩史、杉澤君子、杉本裕好、須田 稔 た/ 高崎庄二、高瀬元通、高瀬まかみ、高取利喜恵、高橋幸子、高橋純一、田川晴信、瀧川順朗、武市常雄、竹内 宙、竹内正三、竹田雅博、田中末広、田中 徹、田中美樹、谷 直樹、谷口ひとみ、千葉宣義、趙 博、塚口幸子、塚本泰史、角替 豊、寺田道男、東條文規、土肥輝夫 な/ 内藤進夫、仲尾 宏、中河由記夫、中沢浩二、中田光信、中村在男、仲村 実、鍋島浩一、波戸正明、難波希美子、西 明良、西寺恵照、西原 学、西村 修、西村広宣、蛭川泰司、沼田充廣、根津幸彦、根本 博、野口 修、野坂昭生、野村生代、野村俊子 は/ 朴 実、橋田秀美、橋野高明、橋本 昭、橋本利昭、服部良一、妻 梨花、長谷川存古、長谷川 薫、早野陽之介、菱木康夫、平手徳彦、福井澪子、福山義和、藤井悦子、藤野興一、藤本孝一郎、藤原史朗、藤原敏秀、古橋雅夫、星川洋史、堀内 哲 ま/ 前田正明、前田良典、増野 徹、松尾哲郎、松浦逸郎、松崎五郎、松下佳弘、松田耕典、松原康彦、松本 修、三浦俊一、三上章道、見谷 歩、水戸喜世子、三橋秀子、南勝次郎、南 俊二、南 斎子、南野真左衛門、宮崎康人、三室 勇、茂木 康、物江克男、森本忠紀 ら/ 漁野 亨 や/ 弥永 修、山内邦子、山内義広、山川よしやす、山岸康、山下けいき、山田 謙、山田耕作、山元一英、山本 純、山本将嗣、湯浅 進、横山美樹、吉武仁貞、吉永剛志、吉村文彦、吉本 昇、米澤鐵志、米盛満男、米盛晴江 わ/ 脇浜義明

(2020年10月14日現在 賛同人213人)

賛同団体/賛同店

あ/ I女性会議/ アジア共同行動・京都/ アジェンダ・プロジェクト京都/ おさかユニオンネットワーク/ 沖縄・辺野古への新基地建設に反対し普天間基地の撤去を求める京都行動/ 怒っているぞ！障害者切り捨て！ネットワーク関西/ オリーブの会 か/ 釜ヶ崎日雇労働組合/ 釜ヶ崎連帯委員会/ かりの会/ 関西共同行動/ 関西合同労働組合/ 関西三里塚闘争に連帯する会 / 関西新世界通信/ 関西大学校友連絡会/ 「共生・連帯」近畿 / キッチン・ハリナ/ 京都大学社会科学研究会ピース・ナビ/ 京都「天皇制を問う」講座実行委員会/ 9条改憲阻止共同行動/ ぐるーぷ ちゃんぷる/ グローバル・ジャスティス研究会/ 憲法を生かす京都の会/ コラボ玉造 さ/ 在日コリアン・マイノリティ人権研究センター/ 三里塚決戦勝利関西実行委員会/ 自衛隊員の命と人権を守る京都の会/ 新社会党京都府本部/ 新世界通信/ 真宗大谷派・9条の会/ 消費者経済研究所/ 新空港反対東灘区住民の会/ 時事問題研究会/ 自立労働組合連合/ 人民新聞社/ 戦争あかん！基地いらん！関西のつどい実行委員会/ 戦争をさせない左京 1000 人委員会/ 全日本建設運輸連帯労働組合近畿地方本部 た/ 使い捨て時代を考える会/ 東西本願寺を結ぶ非戦・平和共同行動実行委員会 な/ 日本キリスト教団京都教区「教会と社会」特設委員会/ No Base！沖縄とつながる京都の会 は/ 阪神社会運動情報センター/ 反戦老人クラブ・京都/ 反戦老人クラブ・滋賀/ 反「入管法」運動関西交流会/ パンドラディ/ 東大阪三里塚闘争に連帯する会/ ピースムーヴィメント/ ふえみん婦人民主クラブ・京都/ 平和憲法の会・京都/ 平和と民主主義をめざす全国交歓会(ZENKO)/ 米軍Xバンドリーダー基地反対・京都連絡会 ま/ 緑の党グリーンズ京都/ 元町憲法9条の会 ら/ 労働組合つぶしは許さない！勝手連しが/ 労働者共闘 わ/ 若狭の原発を考える会

(2020年10月14日現在 賛同団体/賛同店 58)

*上記以外に公表を控えておられる多数の賛同人がおられることを記しておきます。また今年の賛同振込用紙に「公表の不可」の欄がなかった事お詫びします。そして、この集會に賛同して頂いていた落合祥堯さんをはじめ、今年逝去された方々の冥福を心からお祈りします。(集會実行委員会一同)

インターナショナル

起て飢えたる者よ 今ぞ 日は近し
 醒めよ わが同胞(はらから) 暁は来ぬ
 暴虐の鎖 断つ日 旗は血に燃えて
 海を隔てつわれら 腕(かいな)結びく
 いざ闘わんいざ 奮い立ていざ
 ああインターナショナル われらがもの
 いざ闘わんいざ 奮い立ていざ
 ああインターナショナル われらがもの

聞けわれらが雄たけび 天地轟きて
 屍(しかばね)越ゆるわが旗 行く手を守る
 圧政の壁破りて 固きわが腕(かいな)
 今ぞ 高く掲げん わが勝利の旗
 いざ闘わんいざ 奮い立ていざ
 ああインターナショナル われらがもの
 いざ闘わんいざ 奮い立ていざ
 ああインターナショナル われらがもの

第14回 反戦・反貧困・反差別共同行動in京都 集会スローガン

- ① 9条改憲阻止！ 天皇賛美・天皇の「元首化」を許すな！
主権在民、戦争放棄、基本的人権を守ろう！
- ② 戦争法廃止！ 集団的自衛権の行使を許すな！ 秘密保護法・共謀罪廃止！
- ③ 関西生コン労組つぶしの大弾圧を許さない！
- ④ 朝鮮半島と東アジアの平和を！ 朝鮮戦争の休戦協定を平和協定に！
歴史的反省なき日本政府の対韓・対朝姿勢糾弾！
- ⑤ アメリカはイラン・中東から手を引け！
- ⑥ 民意を無視する辺野古への米軍新基地建設を許すな！
米軍普天間基地の即時撤去を！ オスプレイの配備撤回！
日米地位協定の抜本改正を！ 南西諸島の自衛隊配備・強化を許すな！
どこにも基地はいらない！
- ⑦ 京丹後の米軍Xバンドレーダー基地の撤去を！
- ⑧ 老朽原発の再稼働を許さず、すべての原発を廃炉に！
核燃料サイクルをやめろ！
政府・東電は事故の全責任を取れ！ 被曝労働を強制するな！
放射能汚染から子どもたちを守れ！
- ⑨ アジア民衆への加害事実を認め、歴史の事実を直視しよう！
- ⑩ 格差社会を打ち破り、人らしく生きられる社会を！
- ⑪ あらゆる差別・排外主義に反対し、人権を確立しよう！
- ⑫ モリ・カケ・サクラ疑惑、政府の統計改ざん・捏造を徹底的に追及しよう！
- ⑬ 日本学術会議に政治介入するな！ 任命拒否の理由を明らかにせよ！
- ⑭ 消費税廃止！ 税金は金持ちと大企業から取れ！

主催 反戦・反貧困・反差別共同行動 in 京都 実行委員会

代表世話人 仲尾 宏
 世話人 工藤美彌子、新開純也、高橋幸子、田川晴信、瀧川順朗、千葉宣義、
 野坂昭生、米澤鐵志 (アイウエオ順)

連絡先 〒601-8003 京都市南区東九条西山王町7 NPO社会労働センターきずな 内
 問合せ先 ☎ 090-5166-1251 (事務局長・寺田道男) FAX 075- 981- 4121

HP <http://www.kyotohansen.org>

賛同/カンパ振込先 郵便振替(番号) 00950-5-108500
 加入者名 反戦・反貧困・反差別共同行動(きょうと)

★★★！！ 私たちの活動・運営費が不足しています。カンパをお願いします。